

【出演】

島野仲代
中川為久朗
福原美佳
秋山亜紀子
高山康宏
矢野貴大
林田悠佑
池田咲子

【美術】 乗峯雅寛

【照明】 河崎浩

【音響効果】 石井隆

【衣裳】 宮岡増枝

【舞台監督】 新庄広樹

【演出助手】 清原達之

【宣伝美術】 増田絵里
(Design Port)

【製作】 白木匡子
佐藤尚子

大西弘記 作 関根信一 演出

きみは
いくさに
征ったけれど

生きることが楽しかった君と僕は出逢えた…

「わからんちゅうことも、
生きとることになるんとかやうか？」

「僕、僕…なんのために生きているのか、
わからないんだ。」

きみは いくさに 征ったけれど

大西弘記=作
関根信一=演出



竹内浩三
(たけうちこうぞう)

1921(大正10)年三重県宇治山田市(現伊勢市)生まれ。1942年日本大学卒業とともに入営し、1945年4月9日フィリピン・ルソン島バギオ北方にて戦死(厳密には生死不明)。数多くの詩や漫画が残されており、このチラシに使用しているカットもその一部。
(藤原書店提供)



軍国主義一色の時代に生き、戦地においてもなお、みずみずしい感性で「五月のように」「三ツ星さん」「骨のうたう」などの詩を残した竹内浩三。そんな竹内浩三と「消えたい」と感じる現代の高校生が出会ったら…。
大西弘記氏(TOKYOハンバーグ)×関根信一氏(劇団フライングステージ)×青年劇場。
2018年の初演から、多くの人々に感動と勇気を届けてきた舞台が全国公演中!

<あらすじ>

家にも学校にも居場所を見つけれない高校生の宮斗。ある日、彼の前に風変わりな一人の青年が現れ、彼に話しかける。「なんしとん?」
夏休み、宮斗は母の勧めでおばあちゃんが暮らす父の故郷伊勢へ向かう。その車中で再び青年に話しかけられる。自分も故郷の伊勢に行くという彼は自分の名前を「浩三」と名乗る。久しぶりに再会するおばあちゃん、伊勢で出会った温かい家族、そして浩三との出会いの中で、宮斗の心は少しずつほぐれ、変わっていく…。



撮影: 藤木正裕



感想より

●生きたくても生きられなかった、けれども自分に正直にいきいきと生きた竹内浩三に出会うことができました。現代の私は、私達は彼のように生きられているだろうか。問いかけられていたと思います。人と人との不思議な縁。結びつき。そして宮斗君とお母さん、先生、おばあちゃんとの対話。浩三との会話がとても臨場感を持ってこちらに迫ってきました。父の祖先の墓参りに行きたいと思いました。(30代女性)

●竹内浩三の詩集は読んでいました。今回の芝居は浩三自身よりも宮斗の生き方の中で生きている浩三でした。戦のない社会で自らの命を絶つ子ども達が年々増えている現代の中で、中高生や先生に観て欲しい作品です。

大西弘記(おおにしひろき) 三重県伊勢市出身。2006年、自らの作品を上演する為TOKYOハンバーグを立ち上げる。社会問題を取り扱いながら、その優しい感性で注目を集める。「最後に歩く道」で2015年サンモールスタジオ選定賞にて最優秀演出賞を、「東京2012〜のぞめずさずかれずあるもの〜」で2020年第32回テアトロ新人戯曲賞をそれぞれ受賞。グランツ企画「正直、私は立派な軍国少年でした。」脚本など外部への書下ろし・演出も数多くこなす。

関根信一(せきねしんいち) 東京都葛飾区出身。1992年、劇団フライングステージを旗揚げ。緻密で繊細、確かな演出力に定評がある。1991年「ぼくのおじさん」で神奈川戯曲賞佳作入選。アート企画陽だまりドラマ・リーディング「空の村号」(作=篠原久美子)、劇団うりんこ「わたしとわたし、ぼくとぼく」(作・演出)等、数多く演出を手がける。
青年劇場では本作品以降「つながりのレシピ」「囲まれた文珠さん」(作=福山啓子)を演出。



〒160-0022東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4F
TEL 03(3352)6990 FAX 03(3352)9418

<出演>



島野仲代



中川為久朗



福原美佳



秋山亜紀子



高山康宏



矢野貴大



林田悠佑



池田咲子

2022~23年例会ラインナップ

前進座 松本清張朗読劇シリーズ
『或る「小倉日記」伝』
12月3日(土)



原作: 松本 清張
出演: 津田 恵一
浜名 実貴
柳生 啓介
(演目が変わる場合
もあります)

扉座 最後の傳令
2023年2月17日(金)



作・演出:
横内 謙介
出演: 岡森 諦
中原三千代
他

こまつ座 きらめく星座
2023年5月14日(日)



作: 井上ひさし
演出: 栗山 民也
出演: 松岡依都美
久保 耐吉
他

会員募集中!!



くしろ演劇みたい会は、継続して
演劇を鑑賞する会です。

会員になると、毎月の会費のみで
年5本の演劇を観ることができます。

お問い合わせは

くしろ演劇みたい会



☎0154-25-6405

ホームページアドレス <https://mitakaikuroshiro.wixsite.com/mysite>

くしろ演劇みたい会 第116回例会

10月5日(水) 午後6時30分 開演

釧路市生涯学習センター

後援/釧路市・釧路市教育委員会・北海道釧路総合振興局・釧路新聞社・NHK釧路放送局・釧路演劇協議会